

吉田鑑島地域おこし協力隊配置要望書

地域 の 目 標	<p>吉田地区は最初に協力隊を受入れ 12 年が経過。                  地域住民の認識、受入れや協働についての醸成はありますが、過ぎた年月の分、高齢化や担                  い手不足の深刻さは増すばかりです。                  新しく大胆で抜本的な取組みや、小さな共同体の再構築など、地域の想いに沿った取組みを                  協力隊の第三者の目で捉えた意見を参考にし、課題解決を目指します。                  ・担当集落は高島、鉢、中手の3集落</p>																
隊 員 に し て 欲 し い 仕 事	<p>【全隊員共通の活動】                  地区との関係づくり                  ・道普請のほか、各種集落行事に参加すること                  ・地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること                  ・地区で何か困りごとがあれば、親身になって相談に乗り、可能であれば支援すること</p> <p>【吉田(鑑島小学区)地区の活動支援】</p> <table border="1" data-bbox="260 857 1385 1503"> <thead> <tr> <th data-bbox="260 857 308 902"></th> <th data-bbox="308 857 683 902">目標（地区の将来像）</th> <th data-bbox="683 857 1230 902">今、協力隊がやるべきこと</th> <th data-bbox="1230 857 1385 902">活動比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="260 902 308 1160">1</td> <td data-bbox="308 902 683 1160">過疎集落の機能維持</td> <td data-bbox="683 902 1230 1160">少数の高齢耕作者で広大な耕地を今後どの ように守り、維持するのが課題。 過疎集落の農業を支援することで、獣害や 増える休耕地の問題など、標高の高い集落 の役割を理解し、機能を維持する方策、体 制を構築して欲しい。</td> <td data-bbox="1230 902 1385 1160">60%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="260 1160 308 1328">2</td> <td data-bbox="308 1160 683 1328">共同作業を通じて地域再考</td> <td data-bbox="683 1160 1230 1328">道普請や、文化財保全活動また、集落のま つりや行事の準備などの共同作業に積極的 に参加し、地域の歴史や文化伝承を通じ、 集落の想いを感受して欲しい。</td> <td data-bbox="1230 1160 1385 1328">20%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="260 1328 308 1503">3</td> <td data-bbox="308 1328 683 1503">高齢者が安心して暮らせる</td> <td data-bbox="683 1328 1230 1503">独居世帯や高齢世帯が社会生活や集落の コミュニティから孤立することなく、 明るく暮らせるために見守りや様々な 柔軟な発想で交流して欲しい</td> <td data-bbox="1230 1328 1385 1503">20%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の活動】                  ・地域の人から地区で暮らすための技術を学ぶこと                  （豪雪地での暮らし方、山間地での暮らし方、など）</p>		目標（地区の将来像）	今、協力隊がやるべきこと	活動比率	1	過疎集落の機能維持	少数の高齢耕作者で広大な耕地を今後どの ように守り、維持するのが課題。 過疎集落の農業を支援することで、獣害や 増える休耕地の問題など、標高の高い集落 の役割を理解し、機能を維持する方策、体 制を構築して欲しい。	60%	2	共同作業を通じて地域再考	道普請や、文化財保全活動また、集落のま つりや行事の準備などの共同作業に積極的 に参加し、地域の歴史や文化伝承を通じ、 集落の想いを感受して欲しい。	20%	3	高齢者が安心して暮らせる	独居世帯や高齢世帯が社会生活や集落の コミュニティから孤立することなく、 明るく暮らせるために見守りや様々な 柔軟な発想で交流して欲しい	20%
	目標（地区の将来像）	今、協力隊がやるべきこと	活動比率														
1	過疎集落の機能維持	少数の高齢耕作者で広大な耕地を今後どの ように守り、維持するのが課題。 過疎集落の農業を支援することで、獣害や 増える休耕地の問題など、標高の高い集落 の役割を理解し、機能を維持する方策、体 制を構築して欲しい。	60%														
2	共同作業を通じて地域再考	道普請や、文化財保全活動また、集落のま つりや行事の準備などの共同作業に積極的 に参加し、地域の歴史や文化伝承を通じ、 集落の想いを感受して欲しい。	20%														
3	高齢者が安心して暮らせる	独居世帯や高齢世帯が社会生活や集落の コミュニティから孤立することなく、 明るく暮らせるために見守りや様々な 柔軟な発想で交流して欲しい	20%														
理 想 の 隊 員 像	<p>□向いている人柄、必要なスキル                  ・持続的な山間集落の特性を生かした営農の仕組み作りを考えてくれる方                  ・自身の目標を見出せる人                  ・慣例に臆することなく新しい取組みを提案できる人                  ・自然を愛し、楽しめる人                  ・人を愛し、楽しさを共有できる人</p>																

隊員年間活動計画

期間		具体的な活動概要			
第1期	4月		農作業研修	高齢者支援	持続可能な集落維持、営農の企画
	5月	道普請	育苗作業 田かき 田植え		
	6月		田の草取り	芸術祭支援	
第2期	7月				
	8月	道普請	管理作業		
	9月				集落行事支援
第3期	10月	道普請	稲刈り		
	11月				
	12月		除雪等作業		
第4期	1月				
	2月				集落行事支援
	3月				